

# 平成21年度 大田原市の 行政改革実施状況



本市の行政改革は、第1次新大田原市行政改革大綱に基づき、市職員で組織する行政改革推進本部と市民組織からなる行政改革推進委員会で検討・協議し、推進しています。  
推進にあたっては、

- I 自助、互助、公助のまちづくりの推進
- II 市民サービスの見直し
- III 人事・給与制度の見直し
- IV 行政体制の見直し
- V 歳入の確保と歳出の抑制
- VI 公営企業などの経営健全化
- VII 外郭団体

の7つの大項目のもとに、年度別実施計画により具体的な改革を推進しています。

平成21年度行政改革実施状況について、概要をお知らせします。

## ■ 問い合わせ

行政改革推進課行政改革担当

TEL (23) 1389

※ 達成状況は、「A、B、C、D」の4段階評価とし、「A：完了、B：順調、C：やや遅れ、D：その他（時期未到来など）」を表します。達成状況は、担当課の自己評価です。

## I 自助、互助、公助のまちづくりの推進

### 1 市民との協働と市民参画のしくみづくり

#### (1) 地域協働の推進

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①生涯学習推進計画への協働体制の位置付け	人材データバンク「輝きバンク」の充実、学校支援地域本部事業の推進、施設・設備の充実(両郷地区コミュニティセンター建設)、生涯学習推進協議会の立ち上げ	B
②道路里親制度の推進	活動延長L=22.25km、登録人数1,095人 ※平成21年度は活動延長の増加なし	C
③市民健康診査の受診率向上	基本健康診査および特定健康診査受診率58.6%(うち特定健康診査受診率は40.4%)	B
④自主防災組織の推進	3つの自主防災組織(深川、北滝、川上(露久保、川上、南方1・2区))を立ち上げ	B

### 2 民間委託および指定管理者制度の導入推進

#### (1) 民間委託の推進

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①保育園の民間委託の推進	平成22年3月の湯津上地区保育園統合整備事業が終了後に検討	D
②学校調理業務の民間委託	新たに市野沢小、薄葉小の2校について調理業務の民間委託を実施(調理員定数35名、正規職員33名、臨時職員2名)	B
③直接収集運搬ゴミの民間委託	平成21年度から湯津上地区における収集を民間業者に委託	B
④スポーツ施設の民間委託化	市民プールの開閉、監視、トイレ清掃などを民間業者に委託 ※大田原体育館、美原公園内の陸上競技場、野球場の管理運営委託は、委託金額が高額なため断念	B

#### (2) 指定管理者制度の推進

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①公の施設への指定管理者制度導入の推進	2施設に新規導入(図書館、黒羽中屋内温水プール)、3施設の指定期間の更新	A
②ピアートホールの導入検討	平成21年度から黒羽図書館部分は導入開始、文化ホール部分は業務委託契約更新時(平成24年度)を目途に準備中	B

## II 市民サービスの見直し

### 1 窓口サービスの向上

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①自動交付機の利用促進	印鑑登録証の切替交付71%、自動交付機利用率37%	B
②支所機能の見直し	2支所5課を2支所4課に、支所職員数を対前年比7名減の37名に見直し	B

## 2 情報化の推進

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①電子決裁および電子文書管理システムの導入	県内の市町の導入事例が無く、システムの調査も含めて検討中	D
②電子申請届出システムの導入検討	市内のインターネット環境が整っていないなどの課題が多く検討中	D

## 3 事務事業の見直し

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①行政評価の推進（行政評価システムの見直し）	独自評価とし、新規事業のみ事業課で事前評価	D
②母子健康管理システムの見直し	平成18年度母子健康管理システム導入完了	A
③介護予防事業の推進充実	基本チェックリストにより、5,028名について把握事業を実施し、そのうち特定高齢者に決定した843名のうち645名（通所型予防事業75名、訪問型予防事業1名、介護予防セミナー569名）が介護予防事業に参加	B
④保育園の統廃合について	すさぎ保育園・須賀川児童館統合整備事業 →平成22年度から検討 さらど・しながわ保育園・岩舟台幼稚園統合整備事業 →完了(ゆづかみ保育園 平成22年4月開所)	B
⑤入札方法など見直し	総合評価落札方式での試行実施3件	B
⑥農業振興地域の地番管理の見直し	旧湯津上村分(11,316筆)、旧黒羽町分(24,376筆)の入力内容の精査	B
⑦団体事務局の移転	平成19年度に黒羽町林業林産業活性化推進協議会事務局を森林組合に引き継ぎ完了	A
⑧レセプト点検の充実強化	レセプト点検財政効果額54,382千円、過誤調整件数4,650件、請求内容点検財政効果額7,822千円、請求内容点検過誤発見件数2,371件、被保険者1人当たり財政効果額2,270円	B
⑨図書館利用サービスの向上	登録者数・率 52,858人・70%、督促率1.5%、インターネット予約数6,373件	B



## III 人事・給与制度の見直し

### 1 定員管理の適正化

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①定員適正化計画の策定	平成21年4月1日現在職員数688人(対前年△10人) 削減額157,600千円	B

### 2 職員の意欲に応えられる人事・給与制度の見直し

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①人事評価システムの構築	一般研修および評価者研修実施、技能労務職を含め全職員対象に試行実施	C
②明確な職務階級制度の確立	行政職給料表の見直しと合わせて検討中	C
③人事異動制度の見直し	人事評価制度の導入に合わせて自己申告制度・希望降任制度を見直す	C
④特殊勤務手当の見直し	新たな廃止はなし 引き続き県の人事勧告や近隣市町の動向を調査	C
⑤管理職手当の適正化	部課長職の管理職手当で削減の継続実施 削減額 3,700 千円	B
⑥時間外勤務手当の削減	選挙を除く一般会計の時間外手当の総額 82,591 千円(給料総額の 3.52%)、前年度対比-8,776 千円	C

※ 達成状況は、「A、B、C、D」の4段階評価とし、「A：完了、B：順調、C：やや遅れ、D：その他（時期未到来など）」を表します。達成状況は、担当課の自己評価です。

### 3 人材の育成・確保

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①多様な人材育成のための研修体系の充実	独自研修として2研修を新たに実施 (1)裁判員制度研修(宇都宮地方裁判所大田原支部長) (2)ジャーナリストによる教養講話	B
②専門知識を持った職員の育成	自治大学校2人派遣(前年度2人)、栃木県実務研修5人派遣(前年度5人)、市町村アカデミー6人派遣(前年度5人)、経済産業省実務研修1人派遣(前年度1人)	B
③職員提案制度の充実	年間を通して職員から提案を募集、7件の提案を審査(テーマ:黒羽地区各中学校の統合後の活用方法6件、通年募集1件)	B

## IV 行政体制の見直し

### 1 組織機構の見直し

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①組織機構の見直し	市長部局6部2支所24課を6部2支所25課に見直す(国保年金課を新設)	B

### 2 外郭団体の見直し

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①外郭団体(土地開発公社)の見直し	民法に定める清算事務を実施 残余財産を大田原市へ寄付申請(現金預金5,234,300円、土地7,819㎡)、法務局に清算終了登記、栃木県知事へ清算終了届け出	A

## V 歳入の確保と歳出の抑制

### 1 歳入の確保

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①財政健全化計画の策定	公的資金補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画により繰上償還実施	B
②市税などの徴収率の向上(市税)	現年度徴収率97.1%(前年度比0.1%減)、口座振替登録率48.9%(前年度比2.0%増)	C
③ // (国民健康保険税)	現年度徴収率85.9%(前年度比1.3%減)、口座振替登録率33.93%(前年度比1.02%増)	C
④ // (介護保険料(普通徴収分))	現年度徴収率87.4%(前年度比1.6%増)	C
⑤ // (保育料)	現年度収納率98.2%(前年度比0.7%増)	B
⑥ // (市営(市有)住宅使用料)	現年度徴収率95.47%(前年度比0.4%増)	B
⑦使用料、手数料の見直し	見直し検討会の開催が2年ごとの開催のため見直し実績なし	C
⑧市債の圧縮	平成21年度市債借入額 合併特例事業以外の起債額127,900千円(目標15億円以内)	B

### 2 歳出の抑制

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①四役の給与カット	給与月額5%を減額措置 削減効果額4,057千円	B
②市単独補助金の見直し	平成22年度予算編成時に見直しと削減を実施 削減額542千円	C
③経費節減(マニュアルの見直し)	経費削減マニュアルによる削減額19,116千円	B
④経費節減(若杉山荘の経費削減)	若杉山荘需要費を3カ年で300千円削減する計画は平成19年度で達成	A

### 3 適正な財産管理

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①適正な財産管理	売却件数12件、売却面積3,596㎡、売却収入79,561千円	C

※ 達成状況は、「A、B、C、D」の4段階評価とし、「A:完了、B:順調、C:やや遅れ、D:その他(時期未到来など)」を表します。達成状況は、担当課の自己評価です。

## VI 公営企業などの経営健全化

### 1 公営企業などの経営健全化

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①下水道使用料などの徴収率の向上	下水道使用料現年度収納率99.4%、受益者負担金現年度収納率94.54%、滞納者に対する給水停止措置などの対応の成果により、下水道使用料現年度収納率が0.8%増	C
②水道料金の徴収率の向上	水道事業会計水道料金収納率97.08%	C
③下水道使用料などの見直し	近隣の市町の動向を調査して検討(現在は、近隣市町で見直し実施は無し)	B
④黒羽水処理センター管理の民間委託	平成19年度から3カ年の継続契約で民間委託実施中 経費削減額548千円	B
⑤水道事業の民間委託	水道料金の検針、収納、開・閉栓などの業務を民間に委託実施	A
⑥水道水の効率的な利用	新大田原上水道10箇年整備事業により、水運用の効率化を推進(施設の統合・整理、給水ルートのループ化、配水管の整備)	B

## VII 外郭団体 大田原市シルバー人材センター

実施計画項目	進捗状況	達成状況
①人材の育成・確保	平成21年度末会員数390名 契約高213,231千円	C
②事務事業の見直し	会員の意識調査(アンケート)の実施、一般労働者派遣業務実施会員の就業希望調査の実施および適正な就業希望者への就業場の提供	B

※達成状況は、「A、B、C、D」の4段階評価とし、「A：完了、B：順調、C：やや遅れ、D：その他(時期未到来など)」を表します。達成状況は、担当課の自己評価です。

**市内の100歳以上の方**  
(9月1日現在)

107歳	1人
105歳	1人
104歳	5人
103歳	3人
102歳	5人
101歳	7人
100歳	16人
計	38人

※平成23年3月31日までに100歳を迎える方の人数になります。

**問い合わせ**

高齢いきがい課高齢対策係

TEL (23) 8740


9月第3月曜日にあたる9月20日は「敬老の日」。この日は、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」とされています。各地区の自治会などでは、こうした機会に地区の高齢者の長寿を祝う行事が開催されています。

市内で今年度中に100歳以上の誕生日を迎える方(明治44年4月1日以前に生まれた方)は38人で、昨年の33人から5人増えました。

市内最高齢者は、宇田川の田村テイさんで、来年3月で107歳の誕生日を迎えられます。

高齢者の皆さん、どうぞいつまでもお元氣にお過ごしください。

**市内の100歳以上の高齢者の方は38人**



**問い合わせ**

生涯学習課生涯学習係

TEL (98) 7115

**黒羽地区で「生涯学習推進協議会」を設立**

本市では、学校と地域との連携体制を整備し、これまで以上に地域の特性を生かした多様な形態の学校支援活動を実施するとともに、学校を中心として地域の絆を広げ地域の教育力の向上を図ることを目的として、地域住民が主体(市民主導)の生涯学習推進システム「生涯学習推進協議会」の設置を進めております。

これを踏まえ、黒羽小学校児童の学習活動支援を主たる活動とする「黒羽地区生涯学習推進協議会」の設置について昨年度3回の協議が行われ、本年度5月19日に黒羽・川西地区公民館において同協議会の設立(市内12地区4番目の設立)総会が開催されました。

この協議会は黒羽小学校の教育活動を支援することを目的としますが、将来は黒羽地区住民の生涯学習を推進することが確認されました。

役員は次の方々です。

● **会長**

和氣 隆

● **副会長**

黒澤 義典

● **事務局長**

諏訪 嘉彦

